

●入試名称 大 学 ★問合先等	学部-学科 <専攻・コース>	募集人員	出願資格				選考方法 書類・学科(配点・時間)・ 小論文(字数・時間)・面接 (実施形態)・その他	2024年度入試日程					備 考		2023年度入試結果		
			出専 願頃 時区分	現浪 区分	成績 基準	取活 得動 資実 格績		特定条件・その他	工 期 ト リ 間	事 体 前 面接 授業	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 續 日	合否判定評価法(調査書重視項目), 新設, その他	出 願 者 数	合 格 者 数
●自己推薦入試(外国語型) ●自己推薦入試(専攻適性型) ●チャレンジ入試 ●自己推薦入試 ●高大接続入試 ●高大接続型自己推薦入試  ★入試課題 TEL(042)674-2121 〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1	<自己推薦入試(外国語型)> 文-人文社会 <国文学> <英語文学文化> <ドイツ語文学文化> <中国言語文化> <東洋史学> <西洋史学> <社会情報学> <教育学> <フランス語文学文化> <日本史学> <哲学> <社会学> <心理学>  <自己推薦入試(専攻適性型)> 文-人文社会 <フランス語文学文化> <日本史学> <哲学> <社会学> <心理学>	若干  4 5 3 15 4	併  浪  ×  ○  ×  ×	○  ×  △	次のいずれか。(1)英語=TOEFL-iBT57, 英検準1級, IELTS4.5, TEAP 270, GTEC CBT1050以上等の有資格者, (2)ドイツ語=次の(ア)(イ)の要件を満たす者((イ)はドイツ語文学文化専攻のみ)。(ア)ドイツ語3級以上等の有資格者, (イ)英検準2級以上の有資格者, (3)フランス語=フランス語3級以上等の有資格者  美術館等でのボランティアまたは教育普及プログラム等に参加した体験を持つ者  次の全条件。(1)日Bの履修者, (2)日本史研究に強い意欲があり, 日本史学・日本考古学に関する活動に積極的に取り組んだ者  文学書, 哲学書などの豊かな読書経験を持つ者  社会学を学びたいという意欲が特に強い者  心理学に関する多くの読書経験やボランティア等の経験を持つ者	1次=書類審査(専攻により提出小論文含む) 2次=専攻別試験・面接等  1次=書類審査(専攻により提出小論文含む) 2次=専攻別試験・面接等  1次=書類審査(専攻により提出小論文含む) 2次=専攻別試験・面接等  1次=書類審査(専攻により提出小論文含む) 2次=専攻別試験・面接等  1次=書類審査(専攻により提出小論文含む) 2次=専攻別試験・面接等  1次=書類審査(専攻により提出小論文含む) 2次=専攻別試験・面接等  1次=書類審査(専攻により提出小論文含む) 2次=専攻別試験・面接等  1次=書類審査(専攻により提出小論文含む) 2次=専攻別試験・面接等  1次=書類審査(専攻により提出小論文含む) 2次=専攻別試験・面接等	—  —  —  —  —  —  —  —	9.1 — 9.7  9.1 — 9.7  9.1 — 9.7  9.1 — 9.7  9.1 — 9.7  9.1 — 9.7  9.1 — 9.7  9.1 — 9.7	<1次> — <2次> 10.28  <1次> — <2次> 10.28  <1次> — <2次> 10.28  <1次> — <2次> 10.28  <1次> — <2次> 10.28  <1次> — <2次> 10.28  <1次> — <2次> 10.28  <1次> — <2次> 10.28  <1次> — <2次> 10.28	10.19  11.7  11.7  11.7  11.7  11.7  11.7  11.7  11.7  11.7	11.14  11.14  11.14  11.14  11.14  11.14  11.14  11.14  11.14  11.14	調査書-補正せず (注)ほかに学びのパスポートプログラムを若干名を募集  調査書-補正せず (注)ほかに学びのパスポートプログラム10名を募集  4 3 1.3  13 3 4.3  17 4 4.3  44 9 4.9  25 3 8.3	191  4 3 1.3  13  17  44  25	63  3 1.3  3  4.3  4.3  4.3  4.9  8.3	3.0  1.3  4.3  4.3  4.3  4.3  4.9  4.9  8.3		

●入試名称 大 学 ★問合先等	学部-学科 <専攻・コース>	募集人員	出願資格				選考方法		2024年度入試日程						備 考		2023年度入試結果			
			出専 願時 区分	現 浪	成 績基 準	取活 用動 資実 績	特定条件・その他	書類・学科(配点・時間)・ 小論文(字数・時間)・面接 (実施形態)・その他	工 期 (ト リ 間)	事 前 体 験 授 業	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入 締 学 切 続 日	合否判定評価法(調査書重 視項目), 新設, その他	出 ( 願 者 数 )	合 格 者 数 )	競 争 率 )		
●チャレンジ入試 ●自己推薦入試 ●高大接続入試  中央 大学 (続)	<チャレンジ入試> 法-法律 -国際企業関係法 -政治	15 5 10	併	浪	×	○	次の全条件。(1)法律学・政治学を学ぶうえで、必要な知識・学力を有し、それを基礎として社会問題等に対してすぐれた思考力、判断力を有する者、(2)関係者とコミュニケーションを図りながら、協働して問題解決を図る姿勢と能力を有する者、(3)将来、グローバル部門、パブリック部門、リーガル部門のいずれかにおいて社会および自己の未来を切り拓く夢を持ち、その夢に挑戦する意欲と能力があり、問題解決をめざす者、(4)課外活動に積極的に取り組み、すぐれた成果を挙げるなど卓越した経験と実績を有する者 (注)選考方法→1次=書類審査、2次=講義理解力試験・面接				-	-	9.1 9.7	<1次> - <2次> 10.28	10.18 11.8	11.15	調査書-補正せず	181 22 111	26 3 14	7.0 7.3 7.9
		25	併	浪	3.8	○	次の全条件。(1)高校時代に課外の活動に積極的に参加し、他の模範となる成果を修める等、個性的で意欲的な高校生活を送り、広い視野と行動力を身に付けた者等、(2)TOEFL-iBT72, TOEIC L&R785かつS&W310 (IPテスト除く), IELTS5.5, 英検CSE2.0スコア2304以上いずれかの有資格者 (注)選考方法→1次=書類審査、2次=小論文・面接(英語・日本語)				-	-	9.1 9.7	<1次> - <2次> 10.28	10.14 11.8	11.15	調査書-補正せず	99	60	1.7
	<高大接続入試> 経済-経済 -経済情報システム -国際経済 -公共・環境経済	20	併	浪	×	○	自己推薦型=自身が関心や問題意識を持ったテーマに関して、社会と地域と連携した活動に主体的に取り組んでいる者				9.4 9.8	<1次> - <2次> 11.11	10.16 11.20	11.28	調査書-補正せず (注)共通出願条件→本学部入学後の学修計画や将来の構想が明確であり、これまでの自身の活動経験を本学部における学びやその後の進路において活用できると自己アピールできる者	42	6	7.0		
			併	浪	×	○	<出願条件(1)(2)> 資格・実績評価型=次のいずれか。(1)日簿2級、全商簿1級、基本情報技術者、応用情報技術者いずれかの有資格者、(2)本学主催の「高校生地球環境論文書」または都道府県レベル以上で環境問題、社会福祉、社会保障問題をテーマとする懸賞論文等において、作品が入選以上の表彰をされた者、(3)本学部科目等履修生として、「経済入門」を履修し、A以上の成績を修めた者 (注)選考方法→書類審査・小論文・外国語試験(英・独・仏・中国語から選択)・面接				-	-	9.11 9.15	11.11	11.20	11.28		40	20	2.0



●入試名称 大 学 ★問合先等	学部-学科 <専攻・コース>	募集人員	出願資格				選考方法 書類・学科(配点・時間)・小論文(字数・時間)・面接(実施形態)・その他	2024年度入試日程					備 考		2023年度入試結果		
			出専 願時 区分	現浪 区分	成績 基準	取活 得動 資実 績		工 期 ト リ ー 間	事 体 前 面接 授業	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 續 日	合否判定評価法(調査書重視項目), 新設, その他	出 願 者 数 (エントリ ー 数)	合格 者 数 (エントリ ー 数)	競 争 率
●高大接続型自己推薦入試  中央 大学 (続)	<高大接続型自己推薦入試> 理工-応用化学	2	併	浪	4.0	○	本学で応用化学を学ぶための基礎学力、探究心、創造性をアピールできる者(例→化学グランプリ等に出場、化学に関する活動で成果を挙げた者、化学に関連した研究や調査の結果に対して公的な表彰を受けたことがある者) (注)選考方法→1次=書類審査、2次=筆記試験・面接	-	-	9.14 ～ 9.21	<1次> — <2次> 11.11	10.20 11.17	11.27	調査書-補正せず	4	3	1.3
	-情報工	1	併	浪	4.0	○	コミュニケーション力が「相手の意見をひととおり理解し、相手に自身の意見をひととおり伝えられる」、組織的行動能力が「指示されると作業できる。目標を達成するため自ら動ければ、なお良い」、自己実現力が「自ら明確な目標を定め、その実現のために道筋を考え努力する。その際、自己管理を怠らない」、の各能力が水準に達していること、および多様性創発力が「多様性(文化・習慣・価値観等)を意識し、理解しようとしている」水準に達していることのエビデンスとなり得る何らかのアクティブ・ラーニングの実績をアピールできる者 (注)選考方法→1次=書類審査、2次=筆記試験・面接	-	-	<1次> — <2次> 11.11	10.20 11.17	11.27	調査書-補正せず	1	0	-	
	-人間総合理工	8	併	浪	4.0	△	本学で人間総合理工学を学ぶための基礎学力を有し、本学科所属研究室の少なくとも2つ以上に深い興味を持ち、本学科での学びに有用と考えられる探求心、創造性、コミュニケーション能力などにおいて、自らの能力の高さを強くアピールできる者(それらを客観的に証明できる資格やコンテストでの成績などの書類があれば好ましいが、必須ではない) (注)選考方法→1次=書類審査、2次=プレゼンテーション・質疑応答	-	-	<1次> — <2次> 11.11	10.20 11.17	11.27	調査書-補正せず (注)履修条件→C英I II III ・英表I II, 数I II III AB, 理(物基・物, 化基・化, 生基・生のいずれか)を履修していることが望ましい	17	8	2.1	